ユーシン 景況レポート

Number.129
（2026.7～9月期）

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業（回答企業230企業）について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

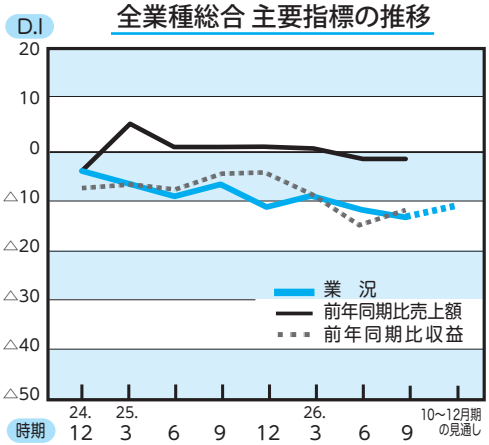
概況（7月▶9月期） 業況は卸売業、サービス業、不動産業で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△12.6と、4月～6月期（前期）の調査より△0.8ポイント低下し、景況感はやや悪化しました。業種別では、卸売業で前期比＋6.3ポイント、サービス業で同比＋9.7ポイント、不動産業で同比＋5.6ポイントの改善となりましたが、製造業で同比△1.4ポイント、小売業で同比△16.8ポイントの低下となりました。

項目別では、売上額判断D.Iが△4.3で対前期比＋0.1ポイントの改善となりましたが、収益判断D.Iは△10.8で同比△1.6ポイントの低下となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△0.9で前期比＋0.4ポイント、同収益判断D.Iが△10.9で同比＋3.4ポイントとなり、ともに改善しました。

雇用面では、人手過不足判断D.Iが△14.8で前期比＋0.5ポイントとなり、人手不足感はやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.0となり、前期比＋1.7ポイントの改善となりました。

全業種総合 主要指標の推移



借入金の動きでは、「借入した」が前期比＋0.4ポイントの増加となりました。借入難易度については容易と回答した事業者の割合は、前期と比べて減少しました。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が28.3%、「原材料高」が27.8%、「売上の停滞・減少」が27.4%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業における生成ＡＩの利活用について」では、貴社では、業務上生成ＡＩ（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek等）を利活用していますか、との質問に対し、利活用している（全社、経営者、従業員）と回答した事業者は合計11.8%という結果となりました。

◎業況判断D.I＝「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標　◎特別調査の詳細は8～9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し（10月▶12月期） 業況の見通し判断D.Iは△10.4、当期実績比＋2.2ポイント改善の見込

来期は、製造業、小売業、建設業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋5.1ポイント、収益判断D.Iが同比＋6.9ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△4.7ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋0.4ポイント改善の見込み、残業時間判断D.Iについては同比△0.4ポイント低下の見込みとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が57.0%、「販路を広げる」が36.1%、「人材を確保する」が23.0%と上位に挙げられました。

景況天気図

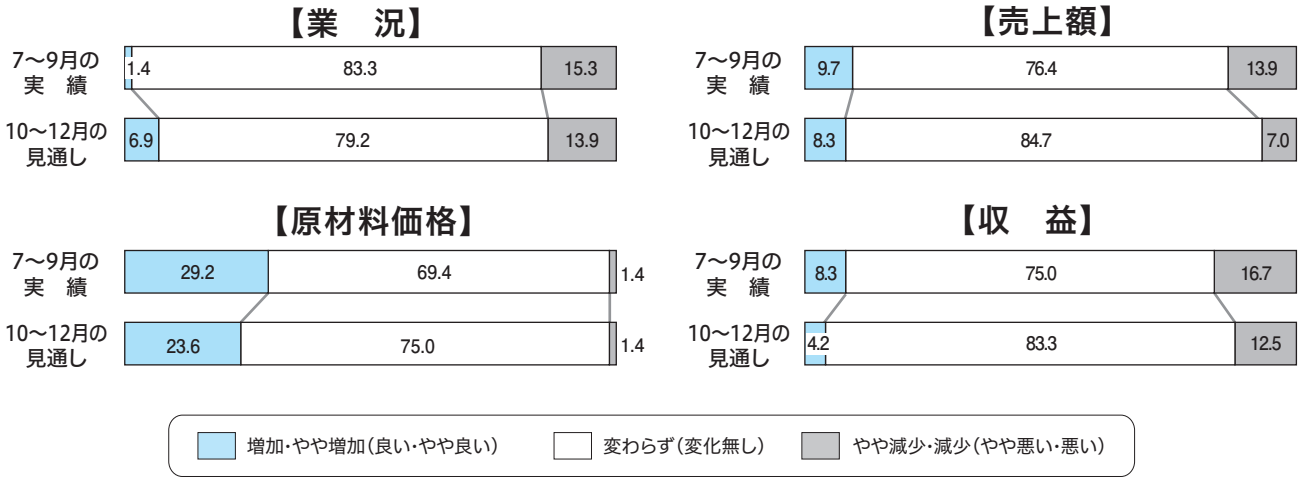
〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名＼時期	8年4月～6月	8年7月～9月	8年10月～12月見通し	概要
総合	↘	↗		業況判断D.Iは、△0.8ポイント低下し△12.6。来期は、+2.2ポイント改善し△10.4の見通し。
製造業	↘	↗		業況判断D.Iは、△1.4ポイント低下し△13.9。来期は、+6.9ポイント改善し△7.0の見通し。
卸売業	↗	→		業況判断D.Iは、+6.3ポイント改善し△18.7。来期は、横ばいの△18.7の見通し。
小売業	↘	↗		業況判断D.Iは、△16.8ポイント低下し△26.8。来期は、+2.4ポイント改善し△24.4の見通し。
サービス業	↗	↘		業況判断D.Iは、+9.7ポイント改善し△6.5。来期は、△3.2ポイント低下し△9.7の見通し。
建設業	→	↗		業況判断D.Iは、横ばいの2.8。来期は、+2.7ポイント改善し5.5の見通し。
不動産業	↗	↘		業況判断D.Iは、+5.6ポイント改善し△5.6。来期は、△5.6ポイント低下し△11.2の見通し。

好調← →低調　↗業況改善　↘業況悪化　→業況変化なし

■製 造 業

回答企業数72企業(回答率100%)



概況(7月▶9月期) 業況判断D.Iは△13.9、前期比△1.4ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△4.2で前期比＋1.4ポイント、収益判断D.Iが△8.4で同比＋2.8ポイントとなり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△8.3で前期比△2.7ポイントの低下、同収益判断D.Iが△11.1で同比＋4.2ポイントと改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1で前期比＋5.6ポイントの改善となり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは4.1で前期比＋1.3ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が8.3%（前期6.9%)、「予定あり」が5.6%（同9.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.8%（前期1.4%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が45.8%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「利幅の縮小」が22.2%と上位に挙げられました。

見通し(10月▶12月期)

3ヶ月予報

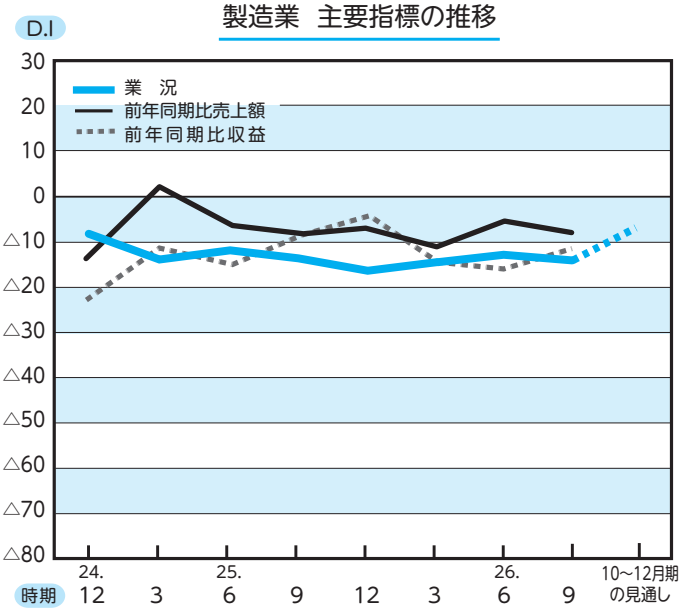
業況の見通し判断D.Iは△7.0、当期実績比＋6.9ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋5.5ポイント、収益判断D.Iは同比＋0.1ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△2.7ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.I、残業時間判断D.Iがともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が70.8%、「販路を広げる」が50.0%、「人材を確保する」が20.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移

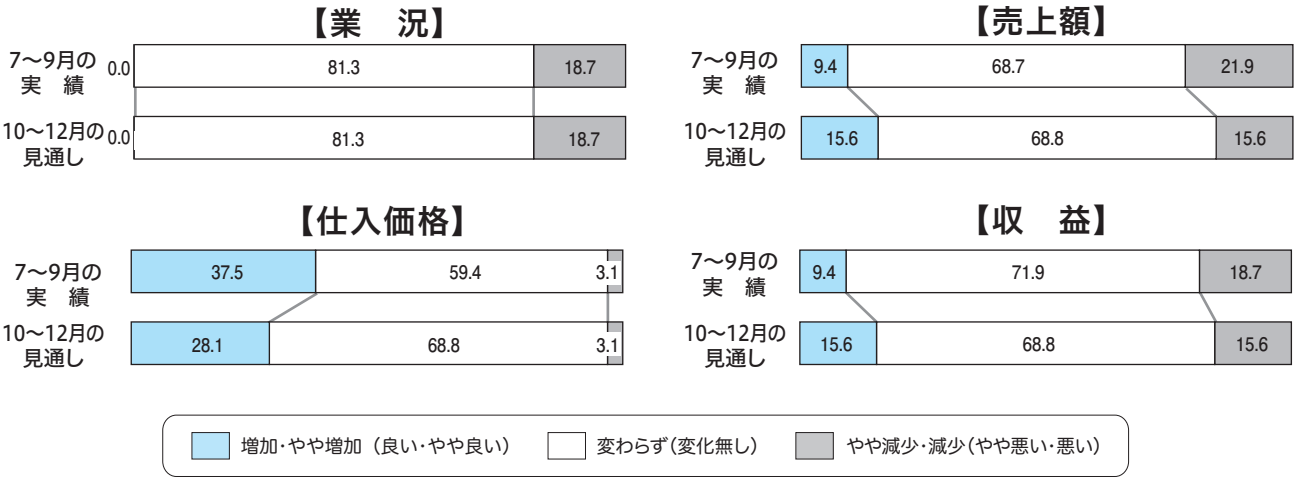


調査員のコメントから

- ガス窯炉製造。経営者にて補助的に生成AIを活用。
- 金属加工。農業も行っており、メディア出演などで地名度を上げている。

■卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)



概況(7月▶9月期) 業況判断D.Iは△18.7、前期比+6.3ポイントの改善

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△12.5で前期比△9.4ポイントの低下、収益判断D.Iが△9.3で同比＋0.1ポイントの改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0で前期比+3.2ポイント、同収益判断D.Iが△6.3で同比+9.3ポイントと、ともに改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.3で前期比＋6.2ポイントの改善となり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.4%（前期6.3%)、「予定あり」が6.3%（同12.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期3.1%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」「利幅の縮小」が31.3%、「売上の停滞・減少」が28.1%と上位に挙げられました。

見通し(10月▶12月期)

3ヶ月予報

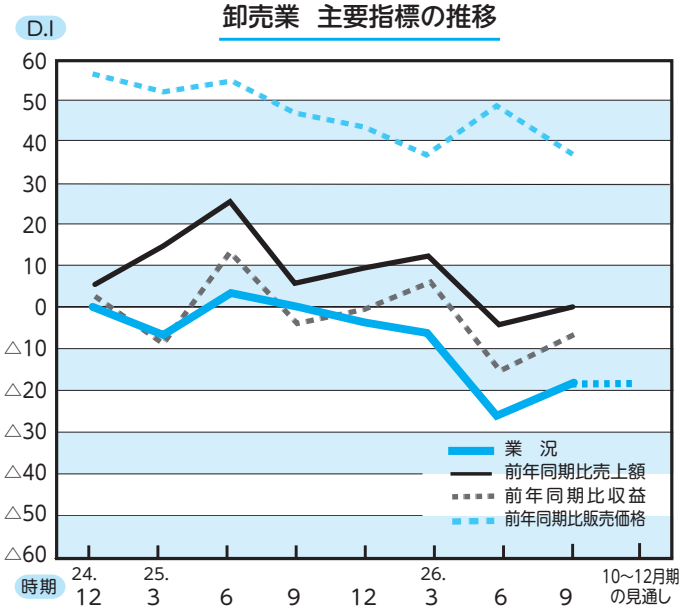
業況の見通し判断D.Iは△18.7、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+12.5ポイント、収益判断D.Iが同比+9.3ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△6.2ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が56.3%、「経費の節減」が50.0%、「品揃えを充実する」が18.8%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移

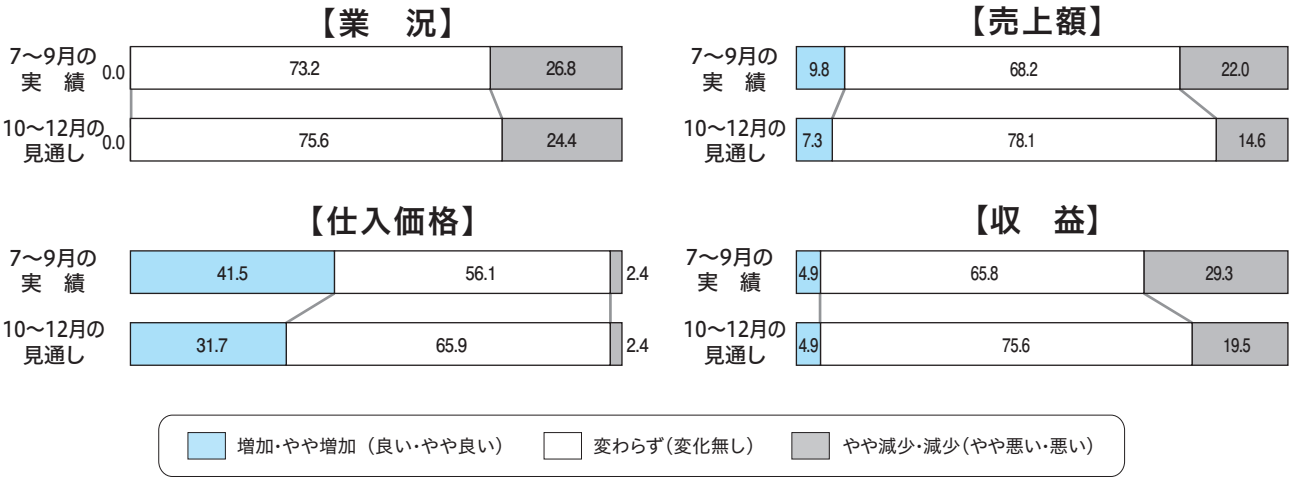


調査員のコメントから

●住宅関連製品卸。住宅ローン金利上昇の影響から新築住宅関連の動きは低調であるものの、リフォーム関連の受注は安定している。

■小 売 業

回答企業数40企業（回答率100%）



概況（7月▶9月期）

景況天気図

業況判断D.Iは△26.8、前期比△16.8ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△12.2で前期比△7.2ポイント、収益判断D.Iが△24.4で同比△9.4ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.2で前期比△14.7ポイント、同収益判断D.Iが△29.2で同比△11.7ポイントと、ともに低下ました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.5で前期比△4.5ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.8%（前期10.0%）、「予定あり」が12.2%（同7.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.0%（前期5.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が39.0%、「大型店との競争激化」が34.1%、「同業者間の競争激化」が29.3%と上位に挙げられました。

見通し（10月▶12月期）

3ヶ月予報

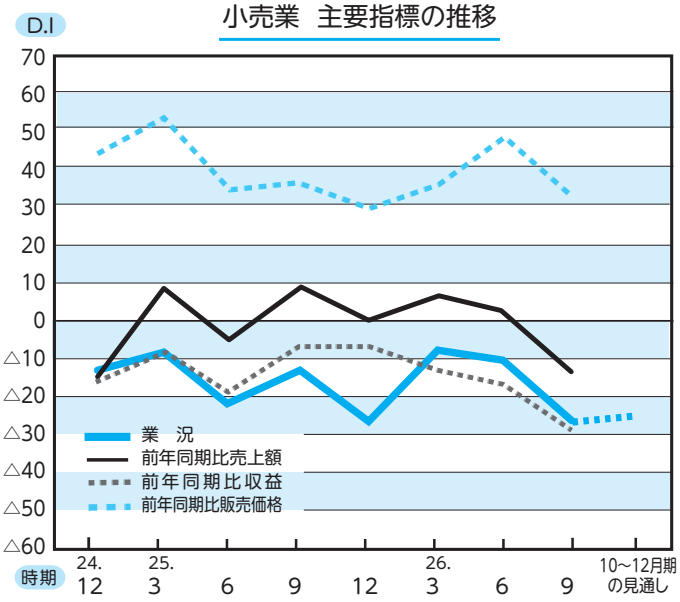
業況の見通し判断D.Iは△24.4、当期実績比+2.4ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+4.9ポイント、収益判断D.Iが同比＋9.8ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通し、残業時間判断D.Iが同比＋2.4ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.4%、「品揃えを改善する」が36.6%、「宣伝・広告の強化」が22.0%と上位に挙げられました。

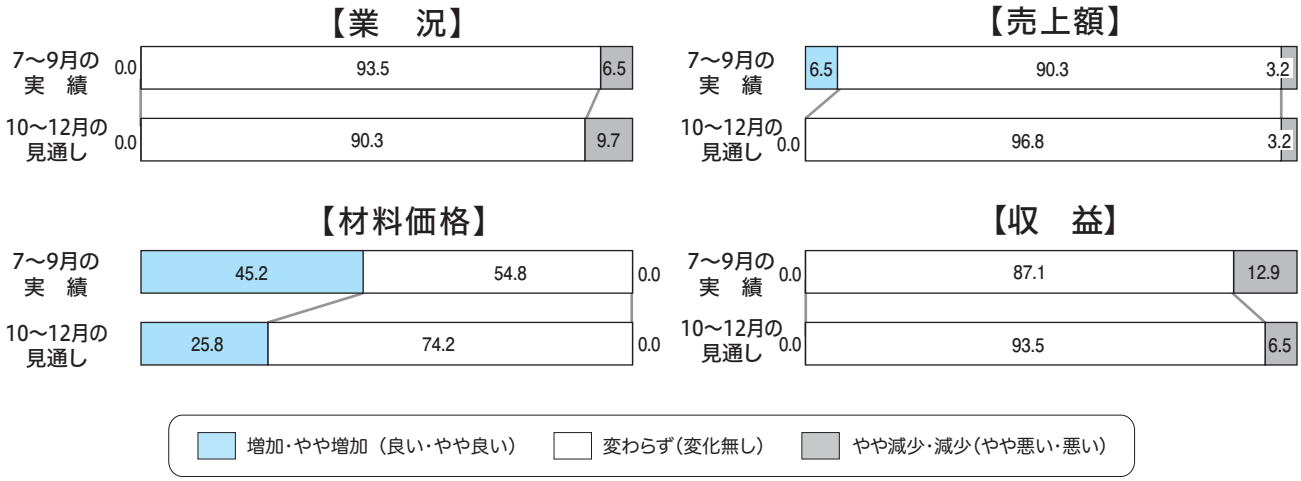
小売業　主要指標の推移



調査員のコメントから

- タイヤ製品販売。９月にタイヤ価格の値上げが発表されたため、駆け込み需要が増加。
- 家電販売。物流コストの増加等により利益確保に苦戦している。

■ サービス業　回答企業数31企業（回答率100%）



概況（7月▶9月期）　業況判断D.Iは△6.5、前期比+9.7ポイントの改善

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが3.3で前期比＋13.0ポイントの改善、収益判断D.Iが△12.9で同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.1で前期比＋25.8ポイント、同収益判断D.Iが0.0で同比＋16.1ポイントと、ともに改善しました

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△29.0で前期比△3.2ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは6.5で前期比＋3.3ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が6.5%（前期9.7%）、「予定あり」が6.5%（同3.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.5%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が38.7%、「材料価格の上昇」が32.3%、「人手不足」が29.0%と上位に挙げられました。

見通し（10月▶12月期）

3ヶ月予報

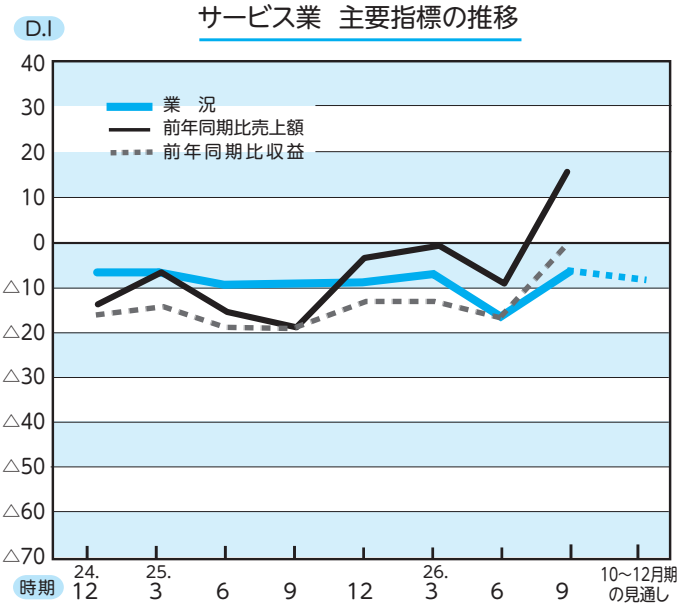
業況の見通し判断D.Iは△9.7、当期実績比△3.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△6.5ポイント低下の見込み、収益判断D.Iが同比＋6.4ポイントの改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△19.4ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋3.2ポイント改善の見込み、残業時間判断D.Iが同比△6.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」「経費の節減」が35.5%、「人材を確保する」が32.3%と上位に挙げられました。

サービス業　主要指標の推移

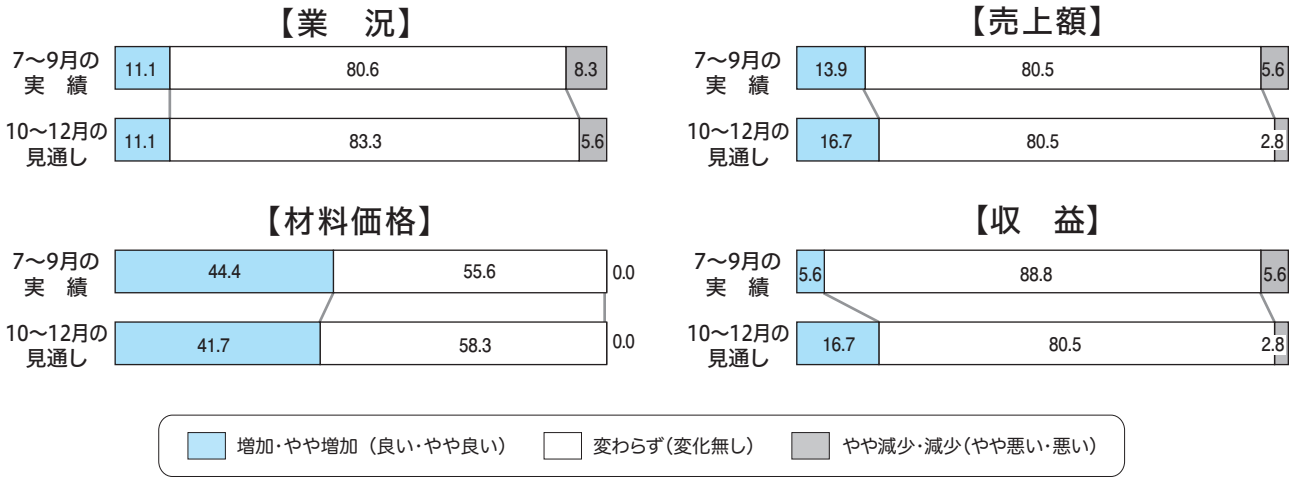


調査員のコメントから

- 旅客自動車運送。送迎についてサブスクリプション化が進み、売上は安定している。
- 自動車鈑金塗装。資材高騰、供給の不安定さに不安を抱いている。

■建 設 業

回答企業36企業（回答率100%）



概況（7月▶9月期）　業況判断D.Iは2.8、前期比横ばい

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが8.3で前期比＋5.5ポイント、受注残判断D.Iは11.1で同比＋13.9ポイントと、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが11.0で前期比△2.8ポイントの低下、同収益判断D.Iが△5.6で同比＋2.8ポイントの改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.6で前期比△5.5ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。前期比残業時間D.Iは5.6で前期比＋5.6ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%（前期16.7%）、「予定あり」が11.1%（前期16.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.8%（前期5.6%）となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が58.3%、「人手不足」が30.6%、「同業者間の競争激化」が25.0%と上位に挙げられました。

見通し（10月▶12月期）

3ヶ月予報

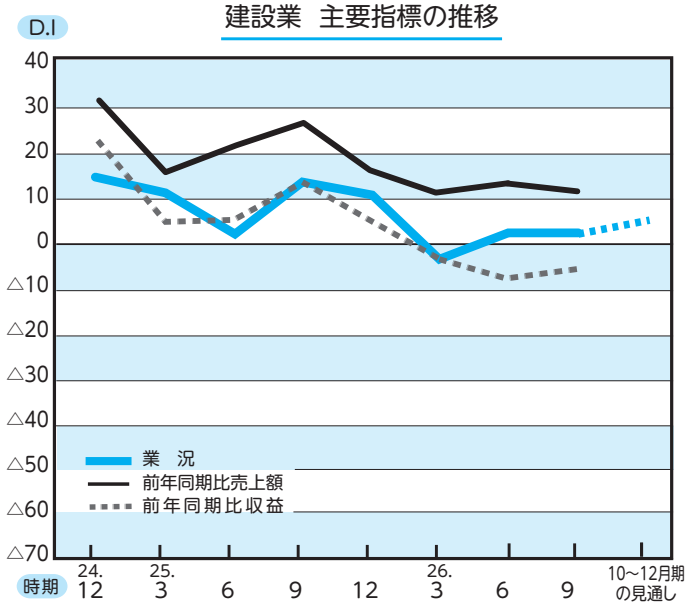
業況の見通し判断D.Iは5.5、当期実績比＋2.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋5.6ポイント、収益判断D.Iが同比+13.9ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△2.7ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.9%、「人材を確保する」が44.4%、「販路を広げる」が25.0%と上位に挙げられました。

建設業　主要指標の推移

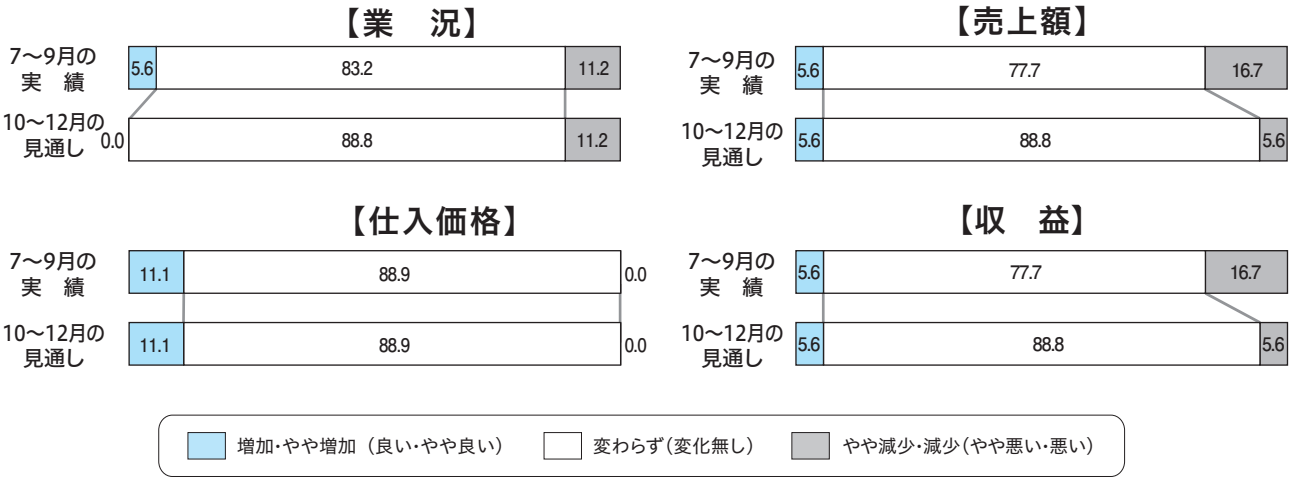


調査員のコメントから

●原材料価格高騰、中東情勢悪化による納期遅れのため、一部で工期の遅れが発生している。また、施工管理技士の資格を保有する人材が不足している。

■ 不動産業

回答企業数18企業（回答率100%）



概況（7月▶9月期）　業況判断D.Iは△5.6、前期比+5.6ポイントの改善

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△11.1で前期比△5.5ポイント、収益判断D.Iが△11.1で前期比△5.5ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0で前期比＋5.6ポイント、同収益判断D.Iは△5.6で同比＋5.6ポイントと、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△5.6で前期比横ばいであり、人手不足感に変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が5.6%（前期5.6%）、「予定あり」が0.0%（同5.6%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が38.9%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「商品物件の不足」が22.2%と上位に挙げられました。

見通し（10月▶12月期）

3ヶ月予報

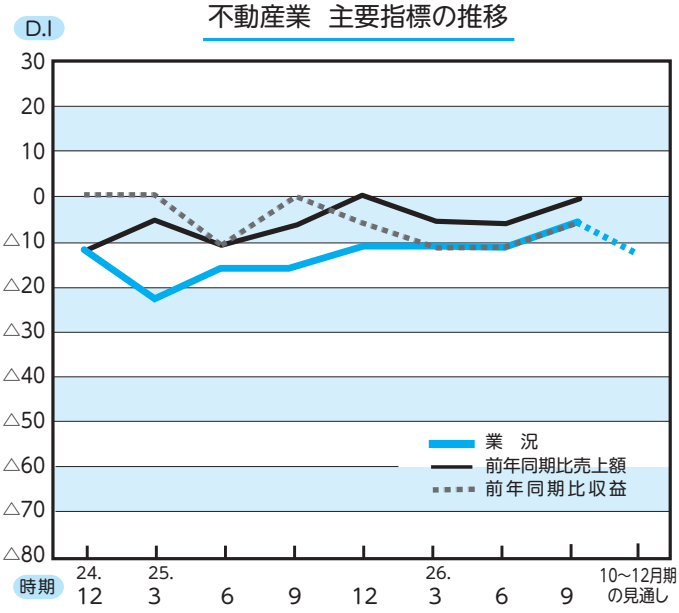
業況の見通し判断D.Iは△11.2、当期実績比△5.6ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋11.1ポイント、収益判断 D.Iが同比＋11.1ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断 D.Iは当期実績比△5.6ポイント低下の見通しとなっております。

雇用面の動きでは、人手過不足判断 D.Iと残業時間判断 D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が50.0%、「情報力の強化」が33.3%、「経費の節減」「宣伝・広告の強化」が22.2%と上位に挙げられました。

不動産業　主要指標の推移



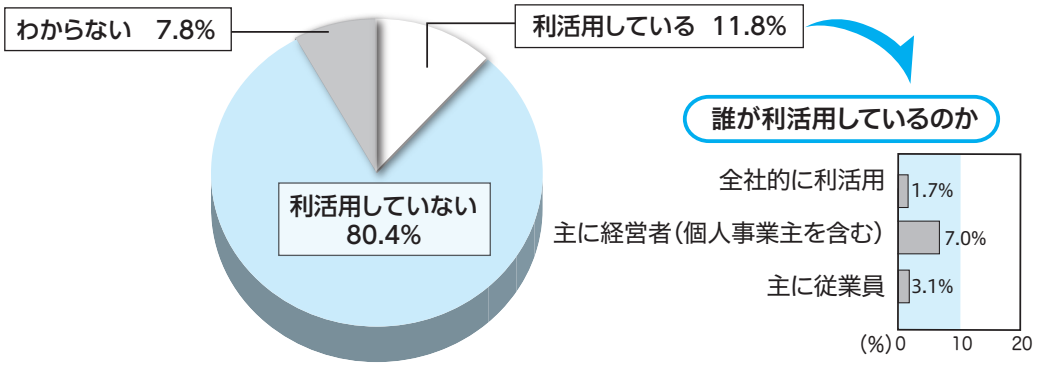
調査員のコメントから

- 新規顧客に獲得が必要不可欠となっている。
- 法人所在地内での不動産取引が減少傾向。取引地域を拡大し売上確保に努める。

特別調査 中小企業における生成AIの利活用について

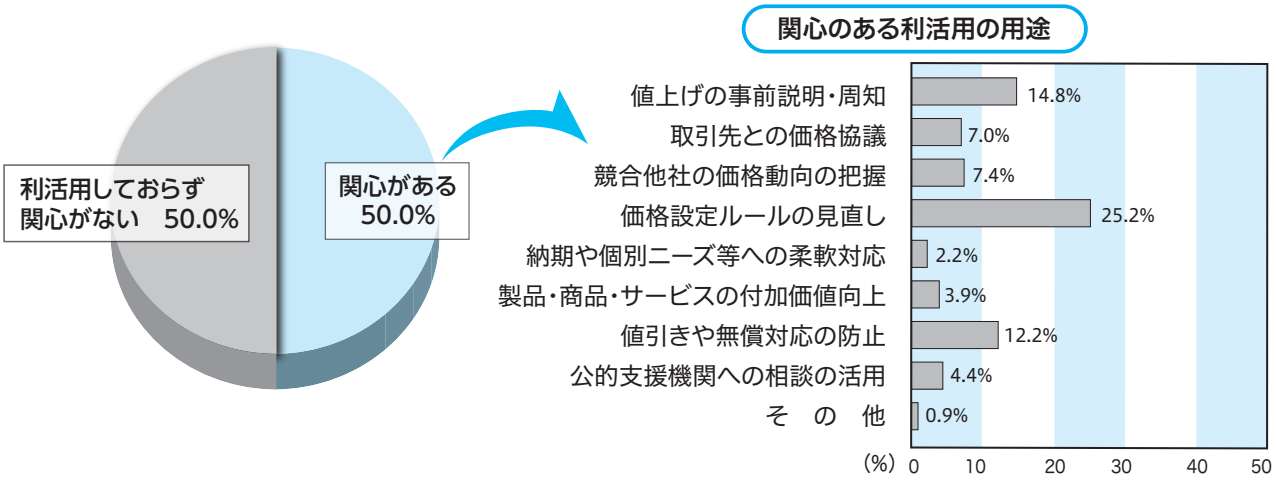
問1

貴社では、**業務上で生成AI（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek等）を利活用していますか。**
利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。



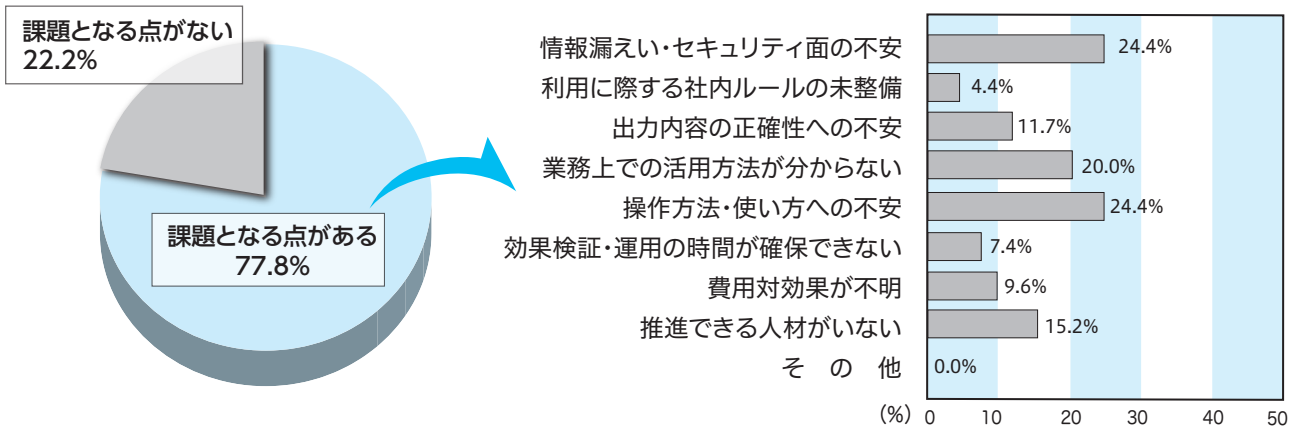
問2

貴社では、業務上で生成AIを**どのような用途**で利活用していますか。（複数回答：3つ以内）
また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。



問3

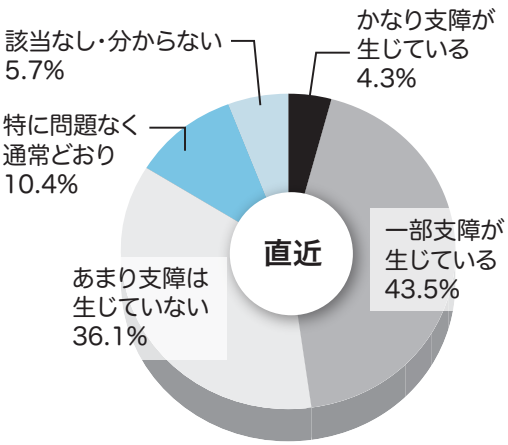
貴社が生成AIを業務に利活用する上で、**課題となる点**は何ですか。（複数回答：3つ以内）
もし現時点で利活用していない場合には、その理由は何ですか。

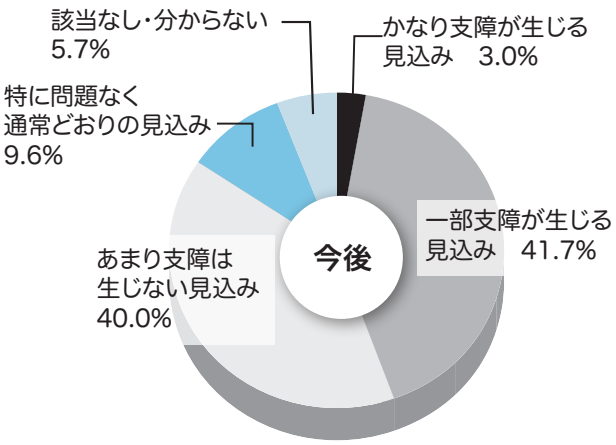


特別設問

中東情勢による影響

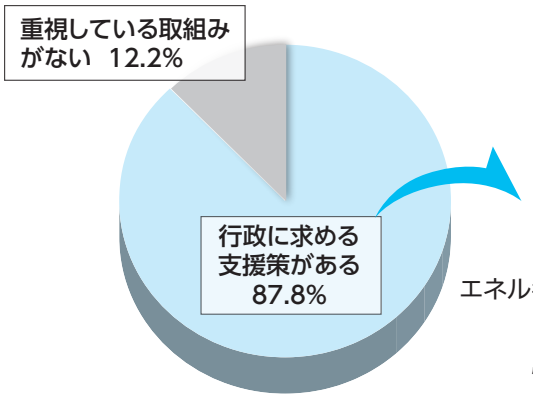
問4 2026年春以降の中東情勢の混迷により、貴社では原材料や商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。

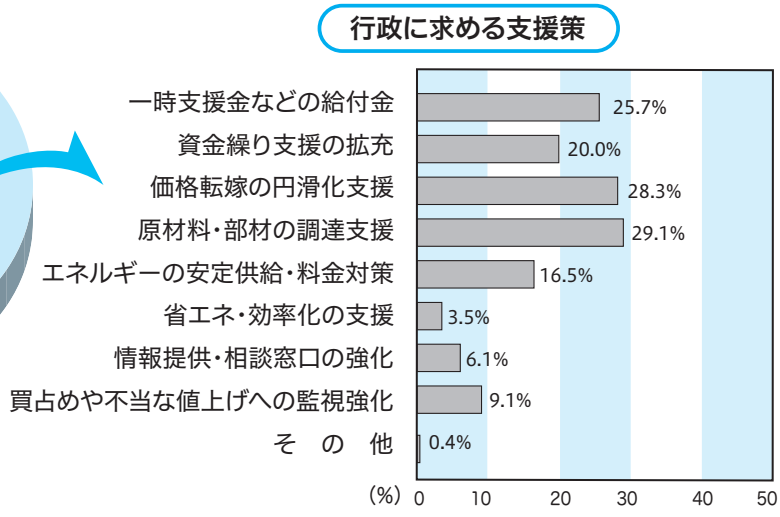




問5 中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。

（複数回答：3つ以内）





提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。
①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

下記のローン商品の金利を店頭表示金利から
年1.50%引き下げます。
※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

ご利用いただける方（右記の条件をすべて満たされる方）
- **契約先の代表者、役員または従業員の方**
- **申込時の年齢が20歳以上の方**
- **保証会社の保証が得られる方**

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン
ご融資金額 500万円以内
ご利用期間 10年以内

ブライダルローン
ご融資金額 500万円以内
ご利用期間 10年以内

カーライフプラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 15年以内

教育プラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン
ご融資金額 100万円以内
ご利用期間 10年以内

リフォームプラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容に付きましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2028年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！
応募作品の中から優秀作品を選定し、2028年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

後　記

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部
〒307-8601　結城市大字結城557番地
TEL（0296）32-2110　FAX（0296）33-0414
https://www.shinkin.co.jp/yuki/

本誌は、環境に配慮し、再生紙と植物性大豆油インキを使用しています